

新校舎設計を隈研吾氏に依頼した理由

設計者を選定するにあたり、大切にしたいポイントは3つです。

1. 屋久島の場所性を大切にし、ここでしかできない特別な体験を提供できること
2. 校舎に子供たちへのメッセージを込め、それを社会に向けて発信できること
3. 日本国内だけでなく、世界への発信力を持っていること

設計者選定のタイミングで、隈研吾氏の著書「建築家になりたい君へ」が読書感想文の課題図書になっているのを知りました。その中でご自身の少年時代の体験をもとに「負ける建築」がどう生まれたのか、そして今後の建築がどうあるべきかについて、未来の予測がしにくい時代に生きる子供たちへのメッセージとして書かれていました。

その内容は大人の私たちにとっても分かり易く、「人間を自然から遠ざけ、人間にストレスを与え続けていたコンクリートや鉄の建築から、自然と一体化するやわらかな建築に向かわなければなりません。」という設計思想は、私たちが期待をする新校舎のビジョンと重なるものでした。

実績および発信力については言うまでも無く申し分ない方ですので、屋久島でのスクーリングという子供たちにとって一生の宝物になる体験を提供するための校舎を、ぜひ隈研吾氏に設計して欲しいと思い、設計依頼をさせていただきました。